

2017年2月13日

## NHK 奈良放送局訪問の報告

(文責 齋藤紀彦)

1. 日時：2017年2月13日（月）15時～15時35分
2. 面談場所：NHK 奈良放送局応接室
3. メンバー：  
NHK：阿部 陽子 副放送局長、中谷 吉克 副部長（総務・企画）  
奈良の会：浅部禎一、齋藤紀彦、平川邦昭、宮内正厳（奈良の会世話人）
4. 訪問目的：靱井前会長退任、上田良一新会長就任の機会に情報・意見交換、奈良の会講演会の案内
5. 面談内容：
  - (1) 奈良の会から資料に沿って説明
    - ①新会長上田良一氏の就任記者会見「公共放送として不偏不党を貫く」が実行されることに期待するとともに、監視・激励活動を継続していく。
    - ②「韓国 加熱する“少女像”問題 ～初めて語った元慰安婦～」(1月24日放送クローズアップ現代+)について、韓国の被害当事者の声、韓国世論を正確に伝えず、日本政府の意向に沿った内容で、視聴者に誤った情報を伝えるものであると抗議した。(日本軍「慰安婦」問題解決全国行動から出されている、NHKへの公開質問状を参考資料として提示)
    - ③奈良 NHK 裁判の現状を説明
      - ・「放送受信料請求事件」昨年9月23日結審、大阪高裁に控訴、審理中
      - ・「放送法遵守義務確認等請求事件」昨年7月21日提訴（原告 宮内正厳、被告 NHK）、3月23日第3回口頭弁論予定
      - ・集団訴訟「放送法等遵守義務確認請求事件」45名の原告が昨年12月27日提訴、3月23日第1回口頭弁論予定
    - ④3月4日「小林 緑」講演会チラシを渡して案内した。講師が元 NHK 経営委員であり、開催日が土曜日でもあるので、来場を強く訴えた。
  - (2) 対話
    - ①上田新会長就任で何か変化があるかどうか？  
新会長の方針とか記者会見の内容などについては地方局にも当然伝えられている。業務の上では、まだ特に影響が出ているとは思われない。
    - ②監視・激励活動を引き続き行っていくが、いい番組も多くあるので、今後は激励にも力を入れていく。
    - ③受信料の徴収率は大きくなっているかどうか？「靱井さんがやめるまで支払い凍結」は、何人かの世話人は解除した。
    - ④奈良放送局の建替え完成は2020年3月完成予定
  - (3) 全体としては和やかな雰囲気に対話できた。

以上